

# KGAニュース GKA



## 目 次

ゴルファーはもう一度ゴルフを勉強しよう	1
金田武明(スポーツ・イラストレーテッド誌アジア代表)	
松くい虫の地域防除について	3
坂本章一(霞ヶ関CC支那人)	
松くい虫被害木の伐採作業を見て	4
石川博英(KGA広報委員)	
ルールQ&A	5
第35回関東アマチュアゴルフ選手権競技	8
第29回関東女子アマチュアゴルフ選手権競技	11
グリーン講習会・春季ジュニア・ゴルフ教室	14
競技実施要項	15
理事会・委員会	20
特別委員名簿	23
月例競技成績表	24
(昭和58年3月~4月)	

No.3



金田武明 (スポーツ・イラストレーテッド誌アジア代表)

## ●戦前のゴルフ場は、すべてはムダなし

日本のゴルフは、1957年のカナダカップを契機として、大きく伸長した。まさかと思うほど大きくなって、手もつけられない状態になった。喜ぶ人、嘆く人、いろいろだ。

日本のゴルフの問題点は何なのだろう。第一は、費用である。何しろ高い。一回のゴルフ費用は、所得の百分の一ぐらいがよいといわれるが、どうだろう。費用が高いのか、日本人の所得が低いのか。どうも両方のような気がする。日本は物価高で世界に冠たる地位を占めている。安いのは、カメラ、電器製品、それに人材だけしかない。

高いのは、米、牛肉、ゴルフ。土地を使うものは例外なく高いという理屈もあり立つ。

しかし、ゴルフ費用の高さは、土地代だけでもない。ゴルファーが、ゴルフは高いものと思いこんでいるというか、あきらめたというか、いずれにせよ、仕方ないというところにある。この辺が、不思議である。戦前、まだ大衆化にまでなっていなかった時代は、高額所得者のスポーツだった。ところが、英國流というか、質素を旨としていた。

洗面所に、クシは三、四本もあればよい方だった。今のように、クシが山盛りになっているのとは違う。石鹼もちびたのが一箇。化粧品など、ある訳もなかった。それでいて、爪の泥をとるブラシは、全部のところにおいてあった。

ゴルフに必要なものだけは、きちんと揃えてあったのである。

ゴルファーは  
もう一度  
ゴルフを勉強しよう

ティーも決して安くはなかったらしい。だから、ついに使っていた。

ターフをとったら、自分でディポットを戻し、土をかける。大抵、バンカーの砂をもって来てかけたりしていた。

今のように、キャディーが、幼稚園の保母さんよろしく世話をやいてはくれなかった。ゴルファーは、自分のことは自分でするものという規律が、しっかりしていた。こうすると、ゴルフは安くなっている。

私は、相模で“チャイムを鳴らそう”とお願いしたことがある。チャイムが鳴ったら、プレイを中断し、自分の周辺をおおす。グリーン上なら、ボールマークをなおし、スルーザグリーンならディポットマークを埋める。

一分たつと、チャイムが鳴ってプレイ再開という訳だ。

一分間に何ができるかという説もあったが、少くとも、コースを見直すには、十分な効果があった。ところが、この案も一年ほど消えた。古老会員が、中断するのは面倒だと打ち切ってしまったからである。大正時代の戦後派は、昭和の戦後派と同じで、自制心がないというのが、私たちの結論だった。

私が言いたいのは、ゴルファーの自覚によって、ゴルフ費用の低減の可能性がある、野放団にしたら、費用も野放団になる。

## ●最近目立つスロープレイ

次の問題は、スロープレイである。一ラウンド3時間が、標準だった。

ところが、近頃では4時間でも早いなどという。混ん

ているからという理屈はおかしい。一番組が3時間なら、終りの組も3時間の筈ではないか。前と後が、ところどころのようにながっているのなら、当然そうなると思うのだ。

テレビの見過ぎという声もある。プロの真似をして、狙ったり、構えたりしたあげく、ピギナーのように失敗する。プロも遅いが、それに輪をかけたのが、アマチュアとなる。

どうしたらよいか。早くブレイし、早く歩く癖をつけたらよい。方法は、いくつもある。

最も手とり早いのは、マッチブレイを多くすることだ。ストロークブレイだと、いつまでも、バットを続けることになる。一ホールで8も9も叩いたら、さっさとすべきなのに、ルール違反はしたくないという。

大体、コースへ出ているのが違反のようなものだから、もういい加減にしてくれといいたくなる。

ルール違反でなく、堂々とピックアップできるマッチブレイなら、その点、心配はいらない。マッチブレイは、そればかりでなく、ルールをよく覚えるようになる。ストロークブレイは、何となく合意の反則の巣となり易い。マッチならそれはいかない。一挙手一投足が、批判的ばかりでなく、ペナルティーの対象となる。

米国でルールに一番忠実なゴルファーは、ギャングの親分という冗談がある。

うっかりルール違反をしたら、相手の子分が機関銃で蜂の巣にしてしまうからだというオチだ。それほど、マッチブレイでは、ルールが大切になる。

近代スポーツの中で、時間制限のないものはめったにない。八百長で悪名高い相撲ですら、制限時間を設定したくらいである。

ゴルフは、スコアにはバーはあっても、時間にはバーがない。随分、間抜けなものだ。

私がオーケヒルズC.C.で提唱したのは各ホールごとに、所要時間を書いておくという方法がある。例えば、ショートホール5分、ロングホール8分と言った具合に、書いておく。ホールとホールの間も適当に設定する。

95分を9ホールのバー分としておけば、土で勝敗を決してもよいではないか。

そんなことをいつまでも続ける必要はない。スローブレイは、癖なのだから、早いブレイを5回もやれば、もう早くなっている筈である。

私がはじめた頃、苦手だったのは小寺西二氏だった。當時、相模のラフは、20センチ以上もあった。しかも、ボ

ールは戦前のもので、貴重品だった。私は、右に左に大荒れ。(それは今も変わらないのが妙だ)貴重品のボールを探し、しかも、一時間半で9番に戻らないと、一言ある。「おい、坊や、何番グリーンを刈ってたんだ?」それほど、愚図だという訳で。しかし、そのおかげで、世界中、どこへ行っても、「いいスピードだ」と喜ばれる。日本人はスローブレイヤーという定評があるだけに、90分で9ホールスを終ると驚くのである。

### ●昔はハンディ24以下は出場資格なし

一組のハンディキャップ合計74というのも、うまく考えた数字だった。昔は、最大ハンディキップ24。それまでは、試合には出られず、練習しろということだった。

シンガポールの友人で、三年間も会員になれなかつた勇者がいた。終りの頃は、もう必死で24の壁に挑戦していた。

会員になり、試合に出るには、そこまで練習しなければならない。酷な話だが、それも考え方だ。人間は、ゴールがないと怠けてしまう。24のゴールはきついようで、さほどのものでもない。一所懸命やれば、後で楽しいゴルフが期待できる。

時間もないのなら、止めたらよい。遊ぶ余裕があるからゴルフをするのだし、一週間に3時間の余裕もない人間が、ゴルフをしようとするのがおかしい。

大体、こういう論を吐くと、眉をひそめる人が多い。しかし、本当にゴルフを楽しむためには、そのくらいの気持で当たった方がよいにきまっている。

はじめに甘えさせたら、人間は甘えきってしまう。

老人、女性、身体障害者に同じことは期待できない。しかし、この人達には、それ相応の楽しみ方がある。それは、ナイン・ホーラーというのである。9ホールしかプレイさせない。その代り、9ホールの試合まで用意する。ご婦人が、ナインホーラーを卒業した時の喜びようは大変なものだった。

欧米の社会には、思いやりもあるが、甘えを許さないところもある。9ホールの考え方方は、その典型である。いつの間にか、紙数がつきて来た。急いで結論らしいものを付け加えよう。

結論は、ゴルフそのものを私たちは、もう一度ゆっくり勉強し直すべきだということになる。

ゴルフというゲームを成立させるのは、人間であり、人間の知恵である。ゴルフの中には、ソフトウェアが一杯つまっているのだ。



## 松くい虫の地域防除について

霞ヶ関カンツリー倶楽部  
支配人 坂本 章一

樂部に向って「一般民地内の松くい虫防除にゴルフ倶樂部の協力」を呼びかけましたところ、「数多くの倶楽部がこれに参画し一定額の協力負担金を埼玉県に贈出する。また県に対してはこの協力金を基金として強力に防除対策を推進するよう申入れる」として意見の一致を見ましたので、直ちに県農林部に赴き本提案の主旨を説明致しました。県側ではこの提案を全面的に受諾し、事業遂行のための体制整備を約束されましたか、やがて次のような具体案の提示があったのであります。

1.県は入間郡の市町村に松くい虫防除対策協議会を設立する。

2.埼玉県郷土緑化推進委員会(県農林関係外郭団体)  
は上記協議会の運営を指導し、体制整備と活動促進のため実情に即し資金援助を行う。

3.本事業に賛成する入間郡内のゴルフ倶楽部は協力負担金50万円を上記推進委員会に納入する。

4.本事業は初年度は入間郡のみを対象とし、他の郡については次年度からとする。

この案に基づき県側とゴルフ倶楽部側との間で細部にわたり打合せが行われ、昨年12月末に「松くい虫防除推進体制整備に関する協定」が締結されました。

本年に入り市町村に次々と協議会が設立され、5月中旬には協議会推進員の調査報告や入間郡全城の航空写真を資料として郡内各地で防除作業が一齊に開始されました。埼玉県は未だ松くい虫による汚染はそれほど進んではおりませんので、本事業が着実に実施されて行けば、この害虫の侵入は完全に食い止めると確信しております。

なお本事業に参加した倶楽部は14倶楽部で、支配人会加盟倶楽部10、未加盟倶楽部4であります。

昭和58年5月20日記

## 現地ルポ

### 松くい虫被害木の伐採作業を見て

広報委員 石川 博英

機関誌用の写真撮影のため、飯能市役所林務課を訪問。そこで、川越農林事務所の管理職員の人達と落ち合い、当日の作業内容を、地図、航空写真的資料に基づき説明を受けた。被害調査は広域にわたるため、地域住民の情報提供と、林務の職員の人達が足で調査していく大変な仕事である。乏しい予算の中で、飛行機を飛ばし、空からの調査と、写真撮影が最も効率の良い調査方法であるが、予算の関係もあり従事している人達は、この点が大きな悩みの様子であった。写真は、高度200メートルで撮影し、山々の中に点在する被害木の位置を、1本1本印を付けて資料として保存されていた。伐採現場は、市内「天覧山」と決まり、秩父から来たという二人のプロの伐採人も同行、車で約15分の所であった。現場は、桧木林の中だった。樹令45~75年ぐらいのりっぱな松の木で、昨年に枯れ、その数は5本で、姿は無残であった。枯木の伐採は、他の木を庇つける様に周到な準備から1本1本切り倒されていき、それは見事な手捌きであった。松の木の種類は相当数あって、松くい虫が、どの種類の木に特に被害を出しているかはまだ判明せず、現在のところはっきりしているのは「松ヤニ」を多量に出している勢いのある木には被害は



倒木の消毒作業



非常に少く、「松ヤニ」の少ない木、弱っている木に特に多く被害が出ているそうだ。めずの松くい虫は交尾の後、産卵期に入ると、比較的弱っている木を探し、その木のやわらかい部分（木の上の方）に入り込み、卵を産むため、鼠算のような増え方だ。くい込まれてから枯木になるまでは、極めて短期間で、蛹から幼虫になる間に被害木の仕事を見なければ、倒木の効果はなく、年に2度「梅雨前」と「秋口」が伐採の機会だとのこと。倒された枯木は、浸透性のある油に強力な消毒液を混合し、切り倒した枯木だけでなく、落した枝葉全体を丁寧に消毒していた。当日は松くい虫の幼虫は確認出来なかったが、皮を剥いた中には、白蟻の大群が密集し、まさに「白蟻地獄」で、また、猛毒を持った多数の毛虫、枯木の中に入り込んでいる得体の知れない虫の蛹等々、現物を見て専門家の説明は、大変得力のあるものだった。最後に、案内いただいた役所の人達は、埼玉県入間地区支那人会の地方自治体に対する連帯強化と資金援助の協力に対して、大変に喜んでおられ、その行動力を高く評価されていたのが印象的であった。

## ルールQ&A

**Q-1** 風の強い日のこと、3オンしたAがグリーン上でボールにアドレスした時、強烈な風が吹いてボールは30cmばかり転がってしまいました。

あわてたAは動いたボールを拾い上げて元の位置に置き直し、1パットでホールアウトしました。

これを見ていた同伴のBは「アドレス後に球が動いたのだから1打付加してその球の止ったところからプレーしなければならないはずだ。それを元に戻したのだから、試験所からのプレーの罰もつくのではないか」といいます。これを聞いたAは「私はアドレスしても球にさわっていないし、風で動いてペナルティーがつくようでは、こんな早いグリーンで強風のときには、うかつに球にアドレスも出来ないじゃないか」と無罰を主張しました。

この場合、風で球が動いても、アドレス後ではペナルティーがつくものでしょうか。

また、つくとすればAのプレーに対する罰打は合計何打をすれば良いのでしょうか。

**A-1** アドレスした後で球が動いたときは1打の罰となり、その球は止まった所からプレーを続けなければなりません。また、規則で許されていないときにイン・プレーの球を拾い上げた場合（故意の拾い上げと言います）は1打の罰が課せられ、その球はリプレースしなければなりません。そしてリプレースをしなければならないときにリプレースをしなかった場合は、更に2打の罰が加算されます。

従って、Aは上記の罰全部が該当しますから、アドレス後に球が動いた罰1打、イン・プレーの球を故意に拾い上げた罰1打、リプレースを怠った罰2打の計4打の罰を負担しなければなりません。

強風のため球が動かされる心配があるときは、バターを地面から浮かしてアドレスせずにパットをすれば質問の如き事件に巻き込まれずに済みます。

**Q-2** パンカー・ショットの苦手なプレーヤーが、ショート・ホールでティー・ショットしたところ、グリーン手前のパンカーに入り、これをこわごわパンカー・ショットしたため、パンカーから出す、2度、3度とパンカーショットを試みましたが、3度目にはついにパンカーのアゴに突きさり、アンブレヤブルにせざるを得なくなりました。パンカーが苦手のプレーヤーは元のティーから打ち直したいと云うのですが、この

場合、何等かの救済方法があるでしょうか、アンブレヤブルを何回か繰返すことにより、ティーに戻ることが出来ますか。

**A-2** アンブレヤブルの宣言をすれば、その球をプレーした元の位置から打ち直しができますが、アンブレヤブルにせずにプレーしてしまうと次にその球をアンブレヤブルの宣言をした場合、元の位置はいまプレーした位置に変わります。

従って、質問の場合は、パンカーのアゴに突きさった球をプレーした元の位置は三度目のパンカー・ショットの位置ですからもはやティーに戻ることはできません。そのプレーヤーは球から2クラブ・レンジス以内か、ホールと球を結んだ後方線上のパンカー内か、あるいは三度目のパンカー・ショットの位置に1打の罰でドロップしなければなりません。

**Q-3** Aが下り傾斜のバットをしたところ、距離感をあやまって反対側のパンカーに球を落してしまいました。

Aは直ちにアンブレヤブルを宣言し、第29条2 b(1)の（ストロークと距離の罰）の処置を採用してグリーン上の元の位置にリプレースしようとしました。しかし、Bはパンカー内の球の位置より、グリーン上の元の位置の方がホールに近づくことになるので、それはできないのではないかといいます。この場合はどうでしょうか。

**A-3** 球をアンブレヤブルとしたときは、1打の罰でその球をプレーした元の位置から打ち直すことを第一に考えるべきです。Aは賢明でした。

アンブレヤブルの宣言をして、その球をプレーした元の位置から打ち直す場合、元の位置がアンブレヤブル球の位置よりもホールに近くても問題はありません。例えば、ティー・ショットが木に当たり、ティーの後にはね返ってアンブレヤブルの個所に停止した場合のように、アンブレヤブルを宣言してホールに近いティーからティー・アップして打ち直しができるのと同じです。

質問にある「ストロークと距離の罰」とは紛失、アウトバウンズ等で通称「前位置から打ち直し」の正式の言葉です。つまり、1打の罰と1ストロークを費してこいと言ふことです。規則では29条、1aがそれです。

**Q-4** ティーショットをフックさせたAが左の池のまわりでボール探しをしていたとき、Aのキャディーがウォーター・ハザードの境界内側の水の無い地点でボールを見つけ、「ありました」とボールを拾い上げました。

Aはその地点が十分プレーできる地点だったので、キャディーに元の位置にボールを置くよう指示しました。

これを見たBは、「自分のキャディーがイン・プレーの球を拾い上げたのだから1ペナルティーを取られることになるのではないか」といいます。

元の位置に戻すと1ペナルティーならばと、Aは「同じ1ペナルティーでウォーター・ハザード外にドロップするよ」と処置の変更を云い出したのですが、その場合はキャディーがピック・アップしたペナルティーはどうなるのでしょうか。普段、ウォーター・ハザードに球が入った場合、当然の事のように球を拾ってくるケースが多いのですが、この場合、一打付加してハザード外に出すという意志表示が事前に必要なのでしょうか。

**A-4** 球が修理地やウォーター・ハザードに入っても、救済を選ぶまではイン・プレーの球です。従って、その球をキャディーがプレーヤーに無断で拾い上げたならば1打の罰が課せられ、その球はリプレースしなければなりません。しかし後に、そのままプレーするか、救済処置を選ぶかを決める段取りとなります。

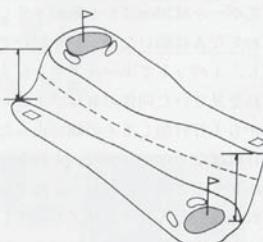
質問の如き事態を避けるためには、キャディにはプレーヤーの承認がないときは勝手に球を拾い上げぬよう教育の必要があり、その反面プレーヤーもキャディにスタートの時点で同じことを伝えておく心掛けが必要です。

**Q-5** 私のコースは山裾をけずって造成された山岳コースですが、設計上、どうしてもコースが段々畠状になってしまいます。しかも所によっては隣のホールとの高低差が30メートル近くある場所もあり、隣の低いホールに打ちこんでしまいますと、ボールを打ち上げて来ることも困難になります。

この両ホールの間のノリ面をOBゾーンにすることも考えましたが、OBゾーンを飛び越したボールは救いようがなくなり、プレーの進行上、どうにもならなくなってしまいます。

そこで、このノリ面にOBラインを設け、どちらからでもこのOBラインを越えた球は、すべてOBとすることにした

いのですが、如何なものでしょうか。  
こういったホールの場合の適切な処理法を、ご教示いただきたく、またその場合のローカル・ルール作成の見本をお示し願います。



**A-5** 表示の状況およびイラストより判断すると、上のホールと下のホールとの高低差は30メートル(8階建ビルに相当)ぐらいあって、かつノリ面も相当な急斜面と思われます。斯る状態では上のホールから下のホールへ落ちた球を上のホールへ打ち上げることは一般アマチュアには困難と思われます。このような特殊の状態を解決するには好ましくない事もやらざるを得ません。

従って、表示のイラストの如くノリ面の中央に上、下のホールを杭を並べて区分し、その杭(線)を越えた球は、1打の罰でその球をプレーした元の位置から打ち直さなければならない特別規則を制定することも止むを得ないと思います(アウト・バウンズの表現は好ましくありません)。特別規則(例)

○番ホールおよび○番ホールをプレー中に球が左側斜面中央の○色杭の線を越えた場合は、その球をプレーした前位置から1打の罰で打ち直さなければならない。ただし、○色杭のそのホール側を結ぶ線に触れている球は、その状態のままプレーしなければならない。以上この様な特別規則を公式競技に適用することは好ましくありませんが、貴俱楽部競技委員会の検討事項とします。

**Q-6** 茨城ゴルフ東コースで行われた、アジアサークット最終戦の3日目(2日目雨のため中止、予戦2日目)、No.16グリーン左側の松の木に新井プロのボールが止まり、ボールも見えており又ギャラリーの証言もありました。双眼鏡で見ても新井プロのものかどうかは確認出来ませんでした。

ロスト・ボールか、アンブレアブルかについて委員の間に意見が分かれましたが、ルールを厳格に解釈してロスト・ボール扱いとしました。

又同じ時刻にNo.3ホール、グリーン手前の松にニュートンプロのボールが止まりましたが同じ扱いにいたしました。之に対し、裁定をお願いします。

**A-6** 裁定の結果は正しいが、その解釈は次の通りです。

スルーグリーンでのホールの確認は、プレーヤーの責任であり従って、スタート前にパートナーとボールを確め合うか、自分のボールにしをつける等しておく必要がある。例えば、フェアウェイの同じような所にある2ヶのボールが偶々番号もメーカーも同じで、2人のプレーヤーのどちらのものか判別出来ない場合は、2ヶともロスト・ボール扱いとする。

質問の場合、もし樹上の球を同伴競技者、ギャラリー、委員などが双眼鏡で調べてプレーヤーが使用していた球であることが確認された場合は、紛失球とはならない。その場合は、球の直下を基点としてアンブレアブルの処置をすることができる。もし、たまたま同メーカー、同番号の球が2個樹上で発見されたときは、どちらがプレーヤーの球であるかの確認が得られて紛失球として扱われる。

**Q-7** Aのティー・ショットが、アウト・オブ・バウンズの境界付近のラフに入った。

Aは、マークーのBに暫定球を打つことを告げて、暫定球を打了。暫定球は、初めの球があると思われる区域より、グリーンから遠いフェアウェイに止った。

Aとキャディは、先ず、初めの球を捜した。1~2分捜した後、Aは「やはり、OBだ。もう、いいよ。(捜さなくても)」とキャディに云って、打ってあった暫定球の方へ戻って、暫定球を打了。

その後、球を捜し続けていたキャディが球を発見し、その球はAの初めの球であることが確認された。

マークーのBは、次の質問にかかる事由により、暫定球がインプレーの球であるとクレームしたが、Aは暫定球は初めの球があると思われる区域よりホールに近づいてプレーしない限りインプレーとはならないと云って、暫定球を拾い上げ、初めの球をプレーし、ホール・アウトした。

【質問】

①初めの球を捜した後(5分未満)、その初めの球を紛失球とする宣言(類似した表現を含め)をした場合には、

初めの球は紛失球となりますか?

②又、初めの球を捜したが、見つからなくて、予め打ってあった暫定球(初めの球があると思われる区域よりもホールから遠い)を打てば、その時点で暫定球がインプレーとなり、初めの球が見つかった(5分以内に)場合でも、初めの球は紛失球となりますか?

①球捜しの途中で紛失球の宣言をしても、未だ他の球をイン・プレーとしていない限り、初めの球が5分以内に発見されたならば、初めの球はイン・プレーの球である。

②暫定球は初めの球があると思われる地域よりホールから遠い所で幾度プレーしてもイン・プレーの球とはならない。従って球を1、2分捜してから諦めて暫定球をプレーした後で初めの球が発見され、それが球捜しを始めてから5分以内であったならば初めの球がイン・プレーの球であり、暫定球は放棄しなければならない。もし、現場の手順が逆で、先に暫定球の二度目のプレーをしてから球捜しにゆき、1、2分の後に諦めて暫定球の方に進んでゆく間に初めの球が発見され、それが球捜しを始めてから5分以内であった場合も上記と同様である。

当クラブの九頭竜コースNo.2ホールには、テイクウンド前方(飛球線方向)約70メートル、地上40メートルから60メートルの高さの中に6本の高压電線がフェアウェイを横切る形で架線されています。この為ローカル・ルールで「電線に当たった球は無罰で打直し出来る」と定めています。ところが、同じ電線に当たった球でもショックで行方不明になる場合と、そのまま地上に落下停止する場合があります。この為にローカル規則による打直し球を暫定球(宣言の必要あり)にするか、又は打直しの救済適用を受けた時点で最初の球を死球と断定すべきか疑義が生じております。正しい判断をご教示下さい。

**A-8** ローカル・ルールで「電線に当たった球は無罰で打直し出来る」と定めている場合、電線に当たった球に対し打直しを遂て再プレーしたときは、その球がイン・プレーとなり初めの球は自動的にプレー外の球となる。従って、この場合の再プレーは規則30条で定める暫定球には該当しない。

# 競技

## 第35回関東アマチュア・ゴルフ選手権競技

●日程 5月26日(木)～29日(日) ●コース 茨城ゴルフ倶楽部東コース(6,551m パー72) ●参加者 159名



この大会はまさに新鋭とベテランの一騎討ちという様相を呈した。

第1日は季節はずれの冷え込みと、終日吹きまくる強風、おまけに舞台は距離もたっぷりあるホールが続き、大半の選手がスコアをまとめるのに苦しんだ。その中を中島常幸プロの末弟で19歳の中島和也(矢板)が7番からの3連続バーディーを含めてアウトを33、インは3バーディー、2ボギーの35にまとめ、4アンダー・パー68。このコースのアマチュア・コースレコードの71を3ストローク更新してトップに躍り出た。「とにかくすべてのショットやパットがうまくかみあつたから」と云っていたが、このコンディションの中でなおかつコース・レコードを更新した力はたいしたもの。

2日目も前日ほどの風は無くなつたが、やはり4月上旬並みの冷え込みが続き、全般的にスコアは伸びなかつた。しかし、中島は相変わらず確実なプレーを続け、3バーディー、4ボギーの73、通算3アンダー・パー141ストロークで2位に頑張る田中泰二郎(下野)との差を4ストロークと開いた。

この着実な当りを見せる中島の活躍に対し、優勝候補と見られていたベテラン勢は内藤正幸(桜ヶ丘)が8ストローク差の149で5位、前年度優勝の加藤一彦(千葉)世界アマの日本代表選手で活躍している阪田哲男(袖ヶ浦)の2人が揃って10ストローク差の151で10位と振わず、気の早い新聞では「史上最年少19歳の王者誕生か?」とまで書かれる始末。

しかし、3日目は阪田がベテランの意地を見せた。出だしの1番、第3打をピンそば80cmにつけるバーディーで快調なスタートを切った阪田は、4番では10mを1パット、続く5番は3m50、6番は2m50、7番は5mと鮮やかにパットを決めて4ホール連続バーディーを奪取、

しかも9番でも約8mの長いパットを決め、アウトだけで6アンダー30を出すという快進撃振り、インに入つて11番でも第2打を70cmにつけて一時は7アンダーとしたが、最後の18番ホールでティー・ショットを右の林に打ち込み、4オンしてこの日唯一の惜しいボギーを叩いた。しかし、この日の6アンダー66のスコアは、初日に中島が出した4アンダー68のアマチュア・コースレコードを一挙に2ストローク更新し、通算を1オーバー・パー217ストロークまで一気に挽回、三日目3オーバー75を叩き、通算をイーブン・パー216にした中島に1ストローク差と肉迫したのである。

「ショットそのものはあまり良くなく、しかもピンが手前に切つてあったのでアプローチがショート気味となりだましましのゴルフだった」そうだか、それでもくずれを見せたのは最後の18番1ホールだけに止めたのは、阪田ならではのベテランの味といえそうだ。

「百戦錬磨の阪田に1ストローク差と追い上げられたのでは、若いだけに中島がそのプレッシャーに押しつぶされるのではないか」

最終ラウンドをひかえて大方の人々が勝負の行方をこう予想した。

阪田が最終日の1番でいきなりバーディーを奪取して中島とタイ・スコアに並んだとき、やはりそんなものかと最早や勝負ははっきりしたような気がしたものである。

しかし、タイ・スコアになってからも中島には一向に動じる気配はなかった。

「何しろ、心臓に毛の生えているような人だから」と阪田が舌を巻くような勝負度胸の持主の中島は、緊迫した中を平然とパー・プレーを続けて行く。先にくずれを見せたのは阪田の方である。5番、7番とミスしてボギー、



ここでまた2ストローク差がついたのだが、最後のインに入ると今度は中島が10番、13番とボギーを出してまたタイ・スコア、まさに隙を見せた方が切り込まれるという真剣勝負の緊迫感がただよつた。

波乱は16番で起つた。共に2オンしながら約3m50を1パットで決めた中島に対し、阪田が3パットしてボギーをたたき、一挙に2ストロークと差がついてしまつた。残すところは17、18番の2ホールだけ、ここでの2ストローク差は阪田にとつて致命傷といえた。

ところが次の17番ホール、断然有利となつたはずの中島がティー・ショットを右の林に打込んでしまい、やつとの思いでボギーにまとめて1ストローク差に差をぢりこめてしまつた。このボギーは半分勝利に見離された阪田の息を吹き返せらせた。うまく行けば18番でプレー・オフに持ち込む可能性が出て来たからである。

最後の18番ロングホール、フェアウェイ真中に飛ばした阪田に対し、中島はまたもやドライバーを右に曲げて林の中に打ち込んだ。強心臓といわれた中島も、最後の土壇場でのプレッシャーが微妙にショットに影響して來たのであつた。ところが阪田の方もセカンド・ショットがバンカーにつかまり、しかもそのバンカー・ショットをミスしてボールは僅かにバンカーから出ただけ、思わず天を仰いだ阪田。この両者の切迫感は見守るギャラリーの

胸をも締めつけた。

気を取り直した阪田が次のアプローチをピンそば50cmと寄せ、後は運を天にまかせた形で中島の最後のプレーを見守つた。

中島の方はピン横約7mに4オン、これを1パットに決めれば初優勝の栄冠が転がり込み、2パットでもプレー・オフという場面である。

中島はあくまで強気を捨てず、思い切りよく1パットを狙つた。しかし、ボールは僅かにカップを外れ、約70cmばかりオーバーした。これでプレー・オフだ?と誰もが思った時、予想外の事が起つた。中島がこの下り70cmのパットを外したのである。果然とたたずむ中島。カップを外れて転がるボールが、中島にとっては白昼の悪夢としか見えなかつたのではないか。

こうして両雄の死斗は終つた。

2度目のタイトルを手にした阪田は、「僕も歳だし、これが優勝の最後のチャンスかも知れないと思って頑張つた。中島君には氣の毒だったが、彼は兄の常幸プロのアマチュア時代より凄いうまさと積極さも持つておられ、若いだけにこれから何度もチャンスに恵まれることと思うので、今後なお一層精進してほしい」と相手の健斗をたたえるさわやかなあいさつで締めくくつた。

### 昭和58年度(第35回)関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者 159名 5月26日(木)～29日(日) 於: 茨城ゴルフ倶楽部(東コース)

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			O	I	計	O	I	計	O	I	計	O	I	計	
優勝	阪田哲男	袖ヶ浦	35	37	72	39	40	79	30	36	66	36	37	73	290
2	中島和也	矢板	33	35	68	37	36	73	36	39	75	35	40	75	291
3	加藤一彦	千葉	37	38	75	35	41	76	36	37	73	35	37	72	296
4	大友富雄	塙原	36	39	75	35	40	75	37	39	76	35	36	71	297
5	富永浩	嵐	37	39	76	39	37	76	37	36	73	37	37	74	299
6	浅川廣彦	武藏	39	37	76	36	36	72	39	39	78	38	36	74	300
6	鶴見順司	日本ジュニア	39	40	79	36	36	72	37	37	74	36	39	75	300
6	田中泰二郎	下野	37	34	71	36	38	74	38	39	74	41	41	78	300
9	小川一透	岡部ナサン	38	37	75	39	37	76	35	38	73	40	37	77	301
10	芹沢大介	関東ジュニア	37	39	76	35	40	75	36	38	74	39	38	77	302
11	鹿瀬一郎	セントラル	34	41	75	35	37	72	40	38	78	39	39	78	303
11	開根孝吉	東筑波	37	40	77	37	41	78	37	36	73	38	37	75	303
13	五十嵐唯郎	五日市	40	36	76	38	39	77	38	37	75	35	41	76	304
13	内藤正幸	桜丘	39	38	77	37	35	72	38	39	77	35	43	78	304
13	鈴賀清生	扶桑	36	36	72	40	37	77	41	39	80	36	39	75	304
16	中村雅明	習野	42	37	79	36	40	76	38	41	79	36	35	71	305
16	森茂則	セントラル	40	36	76	35	39	74	41	40	81	37	37	74	305
18	小暮卓	木更津	39	38	77	36	38	74	38	40	78	41	37	78	307
18	中野弘治	美香	36	35	71	38	45	83	40	39	79	37	37	74	307
18	米山剛	小田原	39	37	76	37	37	74	41	38	79	37	41	78	307
21	上杉好秀	富士サン	39	37	76	36	40	76	41	38	79	35	42	77	308
21	大山四郎	鍾ヶ谷	40	40	80	39	37	76	36	38	74	36	40	78	308



# 競技

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			O	I	計	O	I	計	O	I	計	O	I	計	
21	下井昌史	東京国際	36	38	74	41	42	83	36	37	73	37	41	78	308
21	宜伏健二	東京国際	42	40	82	36	38	74	36	38	74	41	37	78	308
25	小芝一祐	ヶ崎	41	36	77	37	41	78	39	39	78	39	37	76	309
25	田辺嘉一	龍	37	40	77	37	42	79	37	41	78	37	38	75	309
25	海能三郎	柄木	39	38	77	38	39	77	39	40	79	38	36	76	309
25	前場敏信	沼	36	42	78	36	37	73	39	42	81	35	42	77	309
25	松井茂	韻月	37	37	74	36	43	79	36	41	77	39	40	79	309
25	森茂男	立川国際	38	37	75	38	40	78	39	41	80	38	38	76	309
31	青木忠雄	富士・笠置	42	36	78	39	40	79	37	40	77	35	41	76	310
31	石渡廣	富士平原	39	41	80	37	40	77	36	41	77	39	37	76	310
31	内山健司	青	41	40	81	39	37	76	37	38	75	37	41	78	310
34	秋元忠夫	我孫子	39	36	75	35	42	77	38	45	83	36	40	76	311
34	初見為治	利根木	41	38	79	38	39	77	38	37	75	40	40	80	311
34	丸山土浦	浦	40	48	78	35	40	75	38	41	79	42	37	79	311
37	河本徳三朗	伊勢原	44	37	81	36	41	77	39	39	78	35	41	76	312
37	佐野義則	富士	40	38	78	38	39	77	38	41	79	37	41	78	312
37	高山薰	熊谷	39	37	76	40	41	81	38	39	77	38	40	78	312
37	照沼公二	日大	42	40	82	38	41	79	35	37	72	40	39	79	312
37	原辰	東名厚木	42	39	81	36	39	75	41	40	81	37	38	75	312
42	田中伸一	伊勢原	37	38	75	42	39	81	39	40	79	39	39	78	313
42	水沢純一	袖ヶ浦	39	37	76	40	38	78	38	41	79	40	40	80	313
44	阿部恭邦	日体大	40	37	77	35	39	74	38	43	81	40	42	82	314
44	河野安男	江戸崎	38	36	74	40	41	81	42	39	81	38	40	78	314
44	斎藤真人	日高	38	40	78	40	41	81	37	39	76	41	38	79	314
44	佐久間義雄	ヶ崎	40	36	80	39	40	79	40	38	78	36	41	77	314
44	高木公夫	同郷サン	37	41	78	37	41	78	41	38	79	40	39	79	314
44	日暮俊明	大	39	38	78	38	39	77	40	42	82	37	40	77	314
44	船野明	那須小川	37	41	78	37	40	75	40	38	78	42	41	83	314
51	黒岩謙	長野	39	39	78	39	42	81	35	40	75	41	40	81	315
51	端田寛人	青梅	42	38	80	40	38	78	39	41	80	39	38	77	315
51	田代昌義	新千葉	38	37	77	36	42	78	40	42	82	37	41	78	315
51	宮辰矢	志野	38	40	78	38	42	80	39	42	81	38	38	76	315
51	村上元康	鶴	40	38	78	40	36	76	37	41	78	41	42	83	315
51	山中宏文	柄木	39	41	80	38	39	77	41	43	84	37	37	74	315
57	遠藤明雄	同郷サン	39	37	76	38	41	79	40	39	79	40	42	82	316
57	大出正義	新千葉	40	37	77	39	43	82	41	35	80	45	40	81	315
57	沖田恒夫	韻月	41	42	83	39	34	73	41	41	82	38	40	78	316
57	尾崎功一	日大	39	42	81	41	39	80	36	38	74	39	42	81	316
57	竹林隆光	千葉	38	37	85	40	45	83	40	40	80	38	40	78	316
62	加藤進二	高	38	38	78	41	38	79	42	38	80	40	40	80	317
62	小出一尤	ヶ崎	37	42	79	39	40	78	41	39	74	40	40	80	317
62	志村幹夫	洗	40	40	80	39	38	77	41	40	81	39	40	79	317
62	高木安和	東名	38	42	80	38	43	81	38	39	77	38	41	79	317
62	森永正隆	武蔵	41	42	83	38	43	79	37	41	80	39	40	77	317
67	板橋理	江戸崎	40	41	81	40	38	78	38	38	76	41	42	83	318
67	岡田光正	山	39	39	86	40	35	75	39	42	81	38	38	76	318
67	柳原恒	山城	39	40	79	40	42	82	38	39	77	40	40	80	318
67	松沢清治	富士	40	36	76	41	38	79	42	41	84	37	37	74	318
67	森田直樹	開闢ジョニア	41	41	82	40	37	77	41	40	81	39	39	78	318
72	杉田努	GMG八王子	43	38	81	40	39	79	39	37	76	39	44	83	319
72	柴田良三	東京よみうり	39	36	75	41	40	81	41	41	82	40	41	81	319
74	市川秀人	江戸崎	39	43	82	39	40	79	39	39	78	40	41	81	320
74	杉田成豊	越	42	43	86	36	41	77	42	39	81	37	42	79	320
74	森崎章司	鳥山城	37	39	76	41	39	80	43	41	84	40	40	80	320
77	上条清治	ヶ崎	37	39	76	40	44	84	38	42	80	38	42	80	321
77	鈴木滋	鈴木	37	44	81	37	40	77	42	44	84	39	40	79	321
77	竹田晋也	千葉	40	39	79	41	40	81	41	40	81	38	42	80	321
80	高梨信一	桜	39	39	78	40	41	81	40	40	80	39	43	82	322
80	針谷義一	アシダ館	39	38	77	42	39	81	40	38	78	39	47	86	322
83	大沢正昇	廉	42	43	82	39	40	79	43	42	85	40	45	87	323
83	上代修二	中	42	40	82	36	39	75	41	43	84	43	39	82	323
83	北村昭夫	東京国際	40	42	82	36	43	79	38	40	78	42	42	84	323
86	飯盛範一	都	40	39	79	40	42	82	42	39	81	40	42	82	324
86	中村定徳	大	42	39	81	42	38	80	39	45	84	41	38	79	324
88	小應秀浩	利根木	39	41	80	38	41	75	44	39	83	40	44	84	326
88	斎藤正臣	都	39	43	82	37	40	77	42	39	81	40	46	86	326
88	佐久間徹	鈴木	39	40	79	38	40	78	41	49	90	39	40	79	326
88	松川清敏	土浦	42	37	79	43	39	82	41	39	80	41	44	85	326
92	石田弘行	中	38	43	81	41	39	80	40	41	82	42	43	85	327
92	小林正洋	競	39	39	79	39	43	82	42	39	81	42	43	85	327
92	萬安信行	セントラル	40	45	76	35	41	77	40	40	80	38	47	86	327
92	竹岡義一	セントラル	40	37	77	44	39	83	41	36	77	40	37	87	327
92	小林智長	船	43	38	81	39	41	80	44	46	90	37	37	87	327
92	相良清	ヶ谷	39	41	80	40	37	77	41	40	81	40	45	87	327

※以上が決勝ラウンド進出  
—10—

氏名	クラブ	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
		O	I	計	O	I	計	O	I	計	O	I	計	
鹿島田明宏	新千葉	41	41	82	37	43	80	42	40	82	38	42	80	162
金沢次彦	東京国際	41	40	81	38	43	81	40	39	82	37	41	82	162
沢田信弘	専大	40	42	82	39	41	80	41	40	82	38	40	80	162
中川一光	狹山	40	39	79	72	41	83	41	40	82	38	40	83	162
能庭茂	戸塚	39	39	78	74	42	81	40	40	82	38	40	83	162
松岡和美	戸塚	39	39	78	74	42	81	40	40	82	38	40	83	162
松岡和美	東京国際	41	42	83	40	41	81	42	43	84	40	40	85	164
森田雅夫	宇都宮	42	44	86	45	46								

# 競技

用してドライバーを飛ばし、残り175mの第2打は5アイアン、それも見事にピンそば30cmにつけて、なんとイーグルである。これでこの強風の中を1アンダー・パー73にまとめ、2位矢島に9ストロークの大差をつけ、通算4アンダー・パー144ストロークで連続3度目のタイトルを手中にしたのである。

「ゴルフは勝とうと思って勝てるものではなし、普段に努力をしていれば悪いスコアは出るわけがないと信じてやっている」。そうだが、猛練習の裏づけがあればこそ云えることであり、また出せるスコアだったのだといえよう。

とにかく、女性にも大型選手が育って来たのは楽しい。

なお、関東女子の三連勝は昭和36年から3年連続優勝をした小坂旦子(東京)と、昭和47年から連勝した吉持姿(学連)以来、史上3人目。



最終バットを決めて3連勝

## 昭和58年度(第29回)関東女子アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者 146名 6月1日(水)・2日(木) 於: 那須ゴルフ俱楽部

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	
			アウトイン	計	アウトイン	計		
優勝	中島恵利華	矢板	33	38	71	35	38	144
2	矢島智都子	富士	36	38	74	40	39	153
3	吉沢キミ子	セントラル	38	38	76	42	39	157
4	菅谷明子	成城大	38	40	78	39	41	158
5	尾間久江	武藏	40	39	79	40	40	159
5	渡辺恵子	高根	37	43	80	38	41	159
(以上入賞)								
7	永沢利永子	入間	36	41	77	40	43	160
7	湯原光葉	鳥山城	39	40	79	43	38	160
9	中田朱美	袖ヶ浦	40	41	81	40	41	162
10	加藤信子	美喜	42	40	82	37	44	163
10	嶋田万里子	千曲高原	39	41	80	39	44	163
10	鈴木エツ	大秦野	41	42	83	38	42	163
10	益田道子	相模	42	39	81	42	40	163
10	三木恵美子	富士	40	40	80	40	43	163
15	谷弘恵	藤岡	40	41	81	44	39	164
15	福井美保	GMG八王子	41	39	80	43	41	164
15	松本京子	日体大	36	41	77	46	41	164
18	石井羽留子	柏	40	41	81	41	44	166
18	羽賀八重子	大熱海国際	39	39	78	43	45	166
18	山崎美津江	富士御殿場	39	41	80	46	40	166
21	近藤信子	富士ロイヤル	41	40	81	42	44	167
21	佐藤奈保子	日大	43	43	86	42	39	167
21	萩原瑛子	東名厚木	42	42	84	41	42	167
21	山根みどり	日高	40	42	82	42	43	167
25	大谷悦子	大相模	44	41	85	42	41	168
25	金田正子	成城大	40	43	83	43	42	168

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	
			アウトイン	計	アウトイン	計		
25	清水厚子	大厚木	38	41	79	41	48	168
25	本田一江	上毛森林	42	42	84	41	43	168
29	石田雅子	富士平原	41	44	85	44	40	169
30	川島キミ子	芙蓉	40	43	83	44	43	170
30	杉田千多歌	GMG八王子	40	44	84	44	42	170
30	豊井ヨヨエ	府中	42	43	85	44	41	170
30	新田佐喜子	藤岡	40	40	80	46	44	170
30	森美代	蘆之台	40	42	82	46	42	170
35	荒山明子	長野	40	44	84	45	42	171
35	石川淑子	源氏	46	41	87	41	43	171
35	内田トシ子	新宇都宮	41	42	83	46	42	171
35	喜多麻子	茅ヶ崎	43	42	85	42	44	171
35	里見真左子	府中	40	46	86	42	43	171
35	高橋良江	東京国際	40	43	83	45	43	171
35	宮前慶子	伊勢原	46	39	85	41	45	171
42	小松恭子	柴塚	49	40	89	41	42	172
42	斎藤美弥子	霞ヶ閣	42	42	84	44	44	172
42	田中優子	慶応大	37	43	80	48	44	172
42	田辺アキ	飯能	37	45	82	46	44	172
42	長谷川睦子	立川国際	40	43	83	47	42	172
42	原和子	GMG八王子	44	45	89	44	39	172
42	村井利恵	日体大	44	41	85	44	43	172
49	荒川信子	東京国際	40	42	82	45	46	173
49	太田由妃枝	千葉廣済堂	40	44	84	42	47	173
49	佐々木諱子	烏山城	47	41	88	41	44	173
49	千葉京子	東海大	44	42	86	46	41	173
49	富沢敬子	総武	42	44	86	43	44	173

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計	
			アウトイン	計	アウトイン	計		
49	目崎美枝子	江戸崎	43	44	87	44	42	173
55	二宮クララ	府中	44	44	88	41	45	174
55	山崎千佳子	日体大	41	43	84	42	48	174
57	青木英子	船橋	39	46	85	46	44	175
57	秋山曜子	川越	42	43	85	45	45	175
57	大久保清子	川越	40	45	85	43	47	175
57	児玉良子	皆川城	44	44	88	42	45	175
57	小林明子	長野	45	43	88	43	44	175
57	田辺和江	東名厚木	38	45	83	46	46	175
57	原田町子	習志野	41	46	87	45	43	175
57	藤本百子	大厚木	44	42	86	43	46	175
57	村田トシ子	鎌ヶ谷	43	44	87	42	46	175
66	青鹿節子	水戸	45	44	89	43	44	176
66	猪股恵美子	上総富士	45	46	91	42	43	176
66	許斐順子	箱根	44	41	85	46	45	176
66	高田幸子	東千葉	42	48	90	41	45	176
66	時岡美恵子	中津川	43	40	83	48	45	176
71	小野岡たき子	大桑野	44	40	84	46	47	177
71	富永裕子	昭和	41	46	87	46	44	177
71	山本明子	新千葉	43	44	87	41	49	177
71	和田せつ子	中山	43	46	89	47	41	177
75	河合千恵美	慶應大	42	44	86	43	49	178
75	高野南美江	上毛森林	42	45	87	45	46	178
75	田中成美	成城大	43	41	84	45	49	178
75	長沼倣做	船橋	45	46	91	41	46	178
75	中村清子	大相模	43	47	90	45	43	178
75	仁科良子	長野	44	44	88	42	48	178
75	山本百子	日立	43	42	85	49	44	178
82	大竹朱美	高坂	41	43	84	50	45	179
82	黒沼力ホル	鳥山城	44	44	88	44	47	179
82	小出義子	千葉国際	45	45	90	42	47	179
82	高山弘介	東京国際	40	45	85	43	51	179
86	石坂郁子	東京	44	46	90	45	45	180
86	岩沢陽子	東千葉	42	46	88	44	48	180
86	加藤知子	伊勢原	43	44	87	46	47	180
86	小林百代	東京	45	47	92	41	47	180
86	柴野はるみ	武藏	45	43	88	45	47	180
86	菅野尚子	葉山国際	39	49	88	45	47	180
86	横野哲子	新宇都宮	46	46	92	45	43	180
93	小畑登代子	浅見	44	43	87	45	49	181
93	中村友美	東千葉	41	47	88	46	47	181
93	中山万起子	大利根	45	44	89	44	48	181
93	仁科敏枝	月見・佐野	43	48	91	47	43	181
97	青柳恵	慶應大	49	47	96	43	43	182
97	板橋博美	桐生	43	45	88	46	48	182
97	伊藤君子	松本	47	46	93	44	45	182
97	小田幸子	袖ヶ浦	45	44	89	45	48	182

# 講習会

## 第7回グリーン研究講習会開催さる

関東ゴルフ連盟グリーン委員会の恒例の事業となつた第7回グリーン研究講習会は、4月6日午前10時30分より東京都港区虎ノ門の東京農林年金会館にて開催された。今回の議題はゴルフ・コースの生命とまでいわれるグリーンについて、その構造から改良、改造の仕方、メンテナンスの方法までを含めたものだったこともあって、午前10時半から昼食をはさんで午後5時までという長時間の講習会になつたのにもかかわらず、199名という多数の参加者が押しかけ、最後の質疑応答まで熱心に聴講していた。

講演はまず参与の柳久氏が「グリーン床構造の種類と特徴」について各種スライドを交えて説明、昼食後は同じく参与の大久保昌氏が「グリーンの造成、改造の基本工法」についてくわしい講演を行うとともに、USGAのグリーン造成法のフィルムも映写、最後に委員の角田三

郎氏が「グリーン土壤の物理性と化学性」について講演、終って質疑応答には、この3人の講師の他に、グリーン委員会顧問の江原薰氏(九州大学名誉教授)も加わって、参加者からのいろいろな質問に対してていねいな回答を行っていたが、加盟クラブのグリーンキーパーばかりではなく、グリーン委員長や支配人までを対象にしたこの講習会だけに、シロウトにもわかりやすくなつており、グリーンのメンテナンスに対する理解を深めるために有意義な講習会になつていた。



## 春季ジュニア・ゴルフ教室盛況裡に開催

正月に行なわれた冬季ジュニア・ゴルフ教室に続き、ジュニアの春休みを利用した春季ジュニア・ゴルフ教室が、3月30日から4月1日までの3日間、茨城県のセントラルゴルフクラブで開催された。

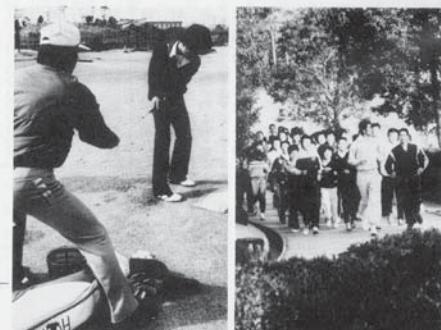
ジュニアの参加費用は3日間のプレー代、宿泊費、食費等を含めて18,000円と安いことも魅力で参加者は男子107名、女子5名、合計112名と多かったが、これを5班に分け、各班には班長以下のジュニア委員と勤勉した学連委員を配置したほか、技術指導には学連出身の高橋信雄(P.L.千葉)をはじめ、関谷通人(宍戸国際)鈴木雅夫(草月佐野)それに地元の渡辺章太郎(セントラル)の4人のプロに協力を仰いだ。

第1日目は午前10時半に集合して、班毎にピッシリつまつたスケジュールに従つて練習場でレッスンを行ない、午後2時よりスタートしてハーフ・ラウンドのラウンド・レッスンを実施、夜は7時から9時までエチケット、マナーやルールの講習が続けられた。

第2日は圧倒的にラウンドを希望するジュニアたちの気持を汲んで一部スケジュールを変更、練習場でのレッスンを切りつめて1.5ラウンドを行ない、夜はまた講習会。最終日はあいにくの雨にたられたが、ジュニアたちは

元気一杯で雨の中に飛び出して行き、試合形式で1ラウンドを行つてこの教室の全スケジュールを無事終了、午後4時に解散したが、今回の教室で特に目立ったのは、参加ジュニア達の受講姿勢が大変に良くなり、最初にくらべればプレーの態度ばかりでなく、クラブ内や宿泊場所でのマナーも見違えるほどに良くなつてゐることである。これも明らかに数回続けて来たこのジュニア教室の成果といえそうである。

なお、この教室の指導に当たつたジュニア委員松野委員長以下16名と、特別に協力したアマチュアの中野弘治、富永浩、吉沢キミ子ら3名の方々は、すべてボランティア活動だった。



## 競技実施要項

### 昭和58年度(第4回)関東ジュニアゴルフ選手権競技実施規定

主 催 関東ゴルフ連盟  
スポーツニッポン新聞社  
関東高等学校ゴルフ連盟

8.申込締切日 昭和58年6月30日(木)午後6時 必着  
締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。締切以後に出場を取止めの場合でも参加料は返金しません。

7月21日、22日、25日のいずれか一日必ず指定練習券を持参のこと。

関東ゴルフ連盟  
TEL. 03-215-0511

#### 予選

期 日 昭和58年7月25日(月)、26日(火)、27日(水)  
28日(木)=予備日

9.指定練習日  
10.問合せ

開催場所 ノーザンカントリークラブ・錦ヶ原  
ゴルフ場(桜、などの花コース)  
(埼玉県大宮市塚本町2-22-1)  
TEL. 0486-24-5651

決勝  
期 日

昭和58年8月3日(木)、4日(金)  
相模原ゴルフクラブ 東コース  
(相模原市大野台4-30-1)  
TEL. 0427-54-2661

1.競技規則 日本ゴルフ協会競技規則および本競技特別規則

2.競技の条件 各クラスとも18ホール・ストローク・プレー

予選通過者数は各クラス下記の通りと定め、予選会場参加者数に比例して各予選の予選通過者数を決定する。

男 子 の 部=26日(火)  
または27日(水) 150人

中学男子の部=25日(月) 20位  
女 子 の 部=25日(月) 12位

3.参加資格 ①競技当日年令満18才までの全日制中・高校生で関東地区在住者(静岡・長野以東新潟以西)  
②主催者の特別承認者

4.賞 予選メダリスト

5.参加料 5,000円(予選、決勝を通じ)

6.プレーの費用 指定練習日、及び競技当日はメンバーフィー

7.参加申込 所定の参加申込書に在学証明書、及び参加料を添えて現金書留で直接スボニチ事業部に申込むこと。

高ゴ連加盟店の選手の在学証明書は所定の用紙に連名で一括し、申込書(個人別)と一緒にまとめて郵送すること。

申込先

〒100 東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
スポーツニッポン新聞東京本社事業部 ジュニアゴルフ係  
TEL. 03-213-3360

3.参加資格

①予選通過者  
②'82関東ジュニアゴルフ選手権男子の部上位5位までの者及び中学、女子の部優勝者

③日本ジュニア選手権のシード選手のうち関東地区在学者  
(ただし、シード権保持者が関東選

## 競技実施要項

手権に出場した場合は日本ジュニアのシード権は消失する)  
④主催者が特別に承認した者  
4. 賞  
男子の部  
優勝者 レプリカ、メダル、賞状  
2~5位 メダル及び賞状  
全員 予選通過記念品  
中学男子の部  
優勝者 レプリカ、メダル、賞状  
2~3位 メダル及び賞状  
全員 予選通過記念品  
女子の部  
優勝者 レプリカ、メダル、賞状

## 昭和58年度（第34回）関東オープンゴルフ選手権競技実施規定

主 催 関東ゴルフ連盟  
後 援 NHK日本放送協会  
協 賛 穂高カントリークラブ  
日本ダンロップ  
1.開 催 日 昭和58年9月1日(木)、2日(金)、3日(土)  
4日(日)  
2.競 技 場 穂高カントリークラブ  
長野県南安曇郡穗高町大字牧2195  
TEL. 02638-3-2778  
3.競 技 方 法 (1)72ホール・ストローク・プレー  
9月1日(木) 第1ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
9月2日(金) 第2ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
(2)36ホールを終り、上位60位まで(アマチュアを含む)のものが後半36ホールに進む。但し、アマチュアのみの成績第5位までのものは60位以外であっても後半36ホールの出場を認める。  
9月3日(土) 第3ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
9月4日(日) 第4ラウンド  
18ホール・ストローク・プレー  
(3)72ホールを終り、プロ、アマともに第1位タイ・スコアを生じたときは即日委員の指定するホールにおいて

2~3位 メダル及び賞状  
全員 予選通過記念品  
シード選手及び主催者特別承認のみ  
5,000円  
6.プレーの費用 指定練習日及び競技当日はメンバー・  
フィー  
7.指定練習日 昭和58年7月28日(木)、29日(金)  
8.そ の 他 本大会の上位者は8月9日(火)、10日(水)  
霞ヶ関カントリー倶楽部において開催される、第27回日本ジュニアゴルフ選手権競技に参加できます。参加人数は各地区的予選参加人数に応じて配分されます。

## 競技実施要項

は参加料を返金しない。  
9.申込締切日 昭和58年7月25日(月) 締切後は事由の如何を問わず受け付けない。  
10.指定練習日 昭和58年8月29日(月)、30日(火)、31日(水)  
但し、31日(水)の練習ラウンドはアウト・  
インとも午後3時をもって締切る。

## 昭和58年度（第30回）関東シニアゴルフ選手権競技実施規定

由の如何を問わず受け付けない。  
関 東 ゴ ル フ 連 盟 東京都千代田区丸ノ内1-1-1 パレスビル606 8.指定練習日  
TEL. 03-215-0511  
予 選 期 日 昭和58年8月26日(金)  
第1・第2ブロック予選  
開 催 場 所 第1ブロック  
横浜カントリークラブ(東コース)  
横浜市保土ヶ谷区今井町1025  
TEL. 045-351-1001  
第2ブロック  
習志野カントリークラブ(空港コース)  
香取郡山田町小川1371-1  
TEL. 04787-9-2111  
1.競 技 規 則 日 期 場 所 昭和58年9月20日(火)、21日(水)  
日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および藤ヶ谷カントリークラブ  
本競技特別規則を適用する。東葛飾郡沼南町大字泉2348  
2.競 技 の 条 件 18ホール・ストローク・プレーを行い、TEL. 0471-91-4161  
各ブロック上位60位までが9月20日日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および  
から2日間、藤ヶ谷カントリークラブで開催する決勝競技出場資格を得本競技特別規則を適用する。  
る。但し、各ブロック予選通過者数は  
参加者の数によって変更することが  
ある。  
3.参 加 資 格 1.競 技 規 則 9月20日(火) 第1ラウンド  
(1)競技開始当日満60才以上でJGAハ 18ホール・ストローク・プレー  
ンディキヤップ16まで。但し未実 9月21日(水) 第2ラウンド  
施クラブは下記計算により14まで 18ホール・ストローク・プレー  
(2)KGA特別承認者 36ホールを終り、第1位がタイの場合  
4. 賞 品 4.参 加 資 格 は、委員の指定するホールに於て、サ  
優 勝 ドン・デス方式のプレー・オフにより  
関東オープン・チャンピオン杯 NHK杯 第1位を決定する。  
アマチュア  
ベスト・アマチュア KGA賞 NHK杯  
第2、第3位 KGA賞  
予選入賞賞 KGA賞  
総額20,000,000円(この順位はアマ 5.参 加 資 格 (1)予選通過者(各ブロック60位)  
チュアを除く)  
競技参加料を添え加盟クラブまたは 2.参 加 資 格 (2)前年度関東シニア10位  
所属団体を通じ、締切期日までに 優勝者 KGA賞(レプリカ)  
KGAに申込むこと。  
KGA加盟クラブ選手 20,000円  
KGA加盟クラブ以外の選手25,000円  
但し、締切以後の参加取消しの場合 3.参 加 資 格 全員に予選通過記念品  
20,000円(但し、決勝シード選手のみ)  
(注)締切以後の参加取消しの場合は  
参加料を返金しない。  
6.申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。  
7.申込み期日 昭和58年7月25日(月) 締切以後は理  
由の如何を問わず受け付けない。  
第1ブロック 8月24日(木)、25日(金)  
第2ブロック 8月23日(火)、25日(木)  
以上のうち1人1回限り会員並み扱いとする。何れの場合も予めスタート時間を予約すること。  
JGAハンディキヤップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベストカード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

## 競技実施要項

7. 参加申込 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。申込みを受けたクラブは所定の申告書に参加料を添えて連盟に申し込むこと。  
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振

8. 申込締切日 昭和58年9月1日(木)  
締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。  
9. 指定練習日 9月13日(火)、14日(水)  
(予めスタート時間を予約すること)

### 昭和58年度（第9回）関東グランド・シニア選手権競技実施規定

**関東ゴルフ連盟**  
東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル606  
TEL. 03-215-0511  
**期 場** 日 昭和58年10月26日(水)  
所 小金井カントリー倶楽部  
小平市御幸町331  
TEL. 0423-81-1221  
**1. 競技規則** 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。  
**2. プレーの条件** 18ホール・ストローク・プレー  
**3. タイの決定** 18ホールを終り、第1位がタイの場合は即日サドン・デスのプレー・オフを行い、第1位を決定する。  
**4. 参加資格** 競技開始当日数え年70才以上で、JGAハンディキヤップ22までの人。但し、未実施クラブは下記計算により20までの人。  
**5. 賞** 優勝者 KGA杯（レプリカ）  
2位 菊三  
3位  
4位

5. 位  
(全員に参加記念品)  
6. 参 加 料 15,000円  
(注)締切以後の参加取消しの場合は参加料を返金しない。  
7. 参加申込 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申し込むこと。申し込みを受けたクラブは所定の用紙に参加料を添え、連盟に申し込むこと。  
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込みのこと。  
8. 申込締切日 昭和58年9月26日(月) 締切以後は理由の如何を問わず受け付けない。  
9. 指定練習日 10月19日(火)・21日(木)  
(注) JGAハンディキヤップを持っていない方は、所定の申請書に年間のベストスコア10ラウンド分を記入して、JGAハンディキヤップ20を取得して下さい。

### 昭和58年度（第68回）日本アマチュアゴルフ選手権予選競技実施要項

**日本ゴルフ協会**  
〒100 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル6階  
TEL. 03-215-0003  
予選競技は日本ゴルフ協会を代行して各地区連盟が実施する。  
開催期日及びコース  
北海道 8月7日(日) 札幌ゴルフ倶楽部(輪厚)  
東北 8月5日(金) 西仙台カントリークラブ  
関東 8月8日(月) 芳賀カントリークラブ  
8月8日(月) 愛鷹600クラブ  
8月9日(火) 船橋カントリークラブ  
中部 8月9日(火) 愛知カントリー倶楽部

関西 8月9日(火) 近江富士カントリークラブ  
8月9日(火) 大宝塚ゴルフクラブ  
8月9日(火) 泉佐野カントリー倶楽部  
中国・四国 8月9日(火) 広島国際ゴルフ倶楽部  
九州 8月9日(火) 宮崎カントリークラブ  
1. ゴルフ規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技特別規則を適用する。  
2. プレーの条件 1日18ホール又は36ホール・ストローク・プレーのスコアにより決勝進出者を決定する。  
地区割当数は参加者数に比例して、

## 競技実施要項

110位タイを配分する。  
3. 参加資格 (1)加盟クラブの会員でJGAハンディキヤップ8までの者  
(2)'83全日本パブリックアマ2位~10位の者  
(3)'82日本学生2位~10位  
(4)'82地区ジュニア上位5位  
(5)'82地区学生上位5位  
(6)JGA特別承認者  
4. 参加申込 参加希望者は所定の申込用紙に記入し、下記の方法により提出しなければならない。  
(1)第3項(1)に該当する選手は所属クラブに申し込み、クラブより当該地区連盟に申し込むこと。  
5. 申込締切日 昭和58年6月30日(木)午後5時  
締切後は事由の如何を問わず受理しない。  
6. 参 加 料 加盟倶楽部会員 20,000円  
(予選、決勝を通じ)  
加盟倶楽部会員外 25,000円  
(予選、決勝を通じ)  
(注)締切後の参加取消しの場合は参加料は返金しない。  
7. 参 加 章 記念品(ネーム・プレート)

### 昭和58年度（第48回）日本オープンゴルフ選手権第1次予選競技実施要項

**日本ゴルフ協会**  
〒100 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル6階  
TEL. 03-215-0003  
予選競技は日本ゴルフ協会を代行して各地区連盟が実施する。  
開催期日及びコース  
北海道・東北・関東 8月23日(火) 千葉国際カントリークラブ  
8月23日(火) 東ノ宮カントリークラブ  
8月23日(火) 東名カントリークラブ  
中部 8月23日(火) 岐阜カントリークラブ  
関西 8月23日(火) 日野ゴルフ倶楽部  
中国・四国・九州 8月23日(火) 玄海ゴルフクラブ  
1. ゴルフ規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技特別規則を適用する。  
2. プレーの条件 1日18ホール・ストローク・プレーのスコアにより決定する。  
最終予選の出場資格者は約70名とし、参加者数に比例して最終予選進出者を決定する。  
3. 参加資格 下記のプレーヤーに対し本第1次予選競技参加資格を認める。  
(1)加盟倶楽部の会員でJGAハンディキヤップ5までの者。  
(2)'83全日本パブリック上位10位までの者。  
4. 参加申込 参加希望者は、日本ゴルフ協会オープン選手権予選競技委員会の発給する所定の申込書に記入し下記の方法により提出しなければならない。  
(1)第3項(1)に該当する選手は所属クラブに申し込み、クラブより当該地区連盟に申し込むこと。  
(2)第3項(5)に該当する選手は日本プロ協会がとり纏め、一括してプロ協会によりその参加選手の居住地の当該地区連盟に申し込むこと。  
(3)第3項(2)、(3)、(4)、(6)、(7)は居住地の当該地区連盟に申し込むこと。  
昭和58年7月30日(土)正午  
(締切後は事由の如何を問わず受理しない)。  
5. 申込締切日 20,000円とする。  
(注)締切後の参加取消しの場合は参加料は返金しない。  
6. 参 加 料 記念品(ネーム・プレート)

# 理事会・委員会

## 加盟クラブ殿

昭和58年3月7日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川護貞

## 58年度第2回理事会議事録

58年度第2回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和58年3月7日(月)午前正午

場 所 パレスホテル

出席者 細川理事長、鈴木、武内両副理事長、相山、藤原、福田富市、木村、古茶、小宮山、松浦、松野、中川、大概、齊藤、佐藤各常務理事、青木、浜口、金丸、北村、小林金太郎、小林甲子郎、木場、宮本、村田、森井、西野、佐久目、関本、山崎、吉沢、内田、渡辺各理事、及び岩本、三嶋、坂各監事

## 決議事項

### 1. 分科委員会委員委嘱の件

細川理事長より、各分科委員会の委員について副理事長、及び各分科委員会委員長と選考した結果、昭和58年度分科委員会委員候補者名簿(別添資料1)がまとまつた旨を報告、この候補者をご承認願いたいと提案、全員異議なくこれを了承、委員会のメンバーが確定した。

### 2. JGA推薦委員の件

細川理事長より、関東ゴルフ連盟推薦の日本ゴルフ協会分科委員会委員の選考についても同様の説明があり、添付された日本ゴルフ協会分科委員会委員候補者名簿(資料2)を全員異議なく承認可決した。

### 3. 後援競技の取扱いについて

武内副理事長より、従来、連盟が後援する競技については予選、決勝を通じて相当数の委員を派遣していたが、委員の負担も大きいため、今後は後援競技に対する委員の派遣をなるべくやめることにし、大きな競技又は決勝等必要に応じて派遣することにしたいと提案があり、全員異議なくこれを承認可決した。

## ★競技委員会

3月18日(金)正午よりJGA会議室に福田委員長以下24名の委員が参加して本年度第1回の委員会を開き、次の事項を討議した。

①本年度連盟主催競技の実施要項を確認した後、各競技を担当する競技委員長及び副委員長を選任。

②後援競技の取扱いについては、委員の負担が大きくなつたため、派遣委員を最少限にすることを決定。

③関東ジュニア選手権の主催三者打合せについてはジ

## 4. 新規加盟申請クラブの件

下記クラブの加盟を承認、これで連盟加盟クラブ総数は333クラブとなった。

茨城バシフィックカントリー倶楽部

## 5. その他

### ①グリーン研究講習会の件

木村グリーン委員長より、グリーン委員会の活動としては、春、秋の年2回各クラブのグリーン委員長や支配人、グリーン・キーパーを集めてグリーン研究講習会を開催しているが、この春の講習会は4月6日、芝の農林年金会館で開催することになっており、関心の深いグリーンの構造を主題にしているので理事の方々も是非ご出席願いたいとあいさつがあった。

### ②理事懇親ゴルフ会の件

木村常務理事より、理事の懇親をかねてゴルフをやつてはいかがとの提案があり、全員これに賛成した。

### ③連盟理事、及び同等待遇者の会員並み扱いの件

木村常務理事より、従来各クラブの連盟理事2名、及び同等待遇者1名は連盟加盟クラブで会員並み扱いを受けることが出来る特典があり、この度の規約改正で連盟理事会はクラブ代表者2名に変わったわけだが、加盟クラブが増大したこと、及びこれらの待遇者がシーズンにリゾート・コースに集中するという例もあるため、この特典を受けられるのは各クラブとも2名の代表者に限り、同等待遇者1名の特典を廃止しては如何と提案、全員異議なくこれに賛成、実施の期日を4月1日よりとすることを決めた。

なお、この特典を利用する場合、希望するクラブに事前に必ず連絡し、了解を取れた時に限ることを再度通知して徹底することを決めた。

以上

ユニア委員会に一任するが、競技管理は競技委員会が司ることを決めた。

④明年度主催競技の日程編成は次会委員会で検討するが、それまでに各人が開催候補クラブの心当たりをつけておくよう要望した。

## ★ハンディキャップ委員会

3月25日(金)正午よりJGA会議室に武内委員長以下、14名の委員、及び6名のコースレート委員と渡辺顧問が参加して本年度第1回の委員会を開き、JGAハンディ

## キャップ規定の普及活動について討議した結果、

①未実施クラブについてくわしい実態調査をする。

②委員は各地区毎に普及活動に当つてもらい、地区単位の説明会を設営してもらい、それには委員長、はじめ副委員長、事務局から説明に必要な人員を派遣する。

等の活動方針を決定した。

## 地区普及活動

群馬県ハンディキャップ説明会

各地区毎の普及活動を実施するというハンディキャップ委員会の決議にもとづき、地元の桑原正明委員が5月6日(金)午前10時、伊香保カントリークラブに群馬県の加盟クラブハンディキャップ委員長を招集して説明会を開催、これにKGAハンディキャップ委員会より古茶一之副委員長と矢野事務局長が出席、参加した26クラブ30人の各クラブ代表者とヒザを交えて話し合い、ゴルフ界全体という大局的立場からJGAハンディキャップの普及実施を要望した。

山梨県ハンディキャップ説明会

5月30日(火)午前10時から、山梨県の昇仙峡カントリークラブに県下加盟クラブ9クラブのハンディキャップ委員長を集めて説明会を開催した。この日は連盟より武内俊三ハンディキャップ委員長、地元の横内宏明委員、及び矢野事務局長が出席し、JGAハンディキャップの合理性を強調、実施協力を要望した。

## コースレート査定

太平洋クラブ・相模コース(4月28日査定)

「バック・ティ」「ペント・グリーン」 68.3

「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 67.0

「バック・ティ」「高麗グリーン」 67.5

「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」 66.2

エンセルカントリークラブ(5月12日査定)

東 中(銀杏・辛夷)

「バック・ティ」「高麗グリーン」 70.1

「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」 68.4

「バック・ティ」「ペント・グリーン」 71.0

「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 69.1

中 西(辛夷・百日紅)

「バック・ティ」「高麗グリーン」 70.2

「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」 68.0

「バック・ティ」「ペント・グリーン」 71.6

# 理事会・委員会

「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 69.4

西 東(百日紅・銀杏)

「バック・ティ」「高麗グリーン」 68.8

「レギュラー・ティ」「高麗グリーン」 66.8

「バック・ティ」「ペント・グリーン」 70.2

「レギュラー・ティ」「ペント・グリーン」 68.3

## 査定スケジュールの件

①上毛高原カントリー倶楽部 5月31日

②那須野ヶ原カントリークラブ 6月7日

③鹿沼カントリー倶楽部 6月8日

④茨城バシフィックカントリー倶楽部 6月16日

⑤姫ヶ崎カントリー倶楽部 7月14日

⑥大熱海国際ゴルフクラブ 7月21日

⑦箱根湖畔ゴルフコース 7月22日

⑧千代田カントリークラブ 8月1日

## ★月例競技委員会

3月15日(火)正午よりJGA会議室に福田彰新委員長以下7名の新委員、及び2名の学連委員が出席して本年度第1回の月例競技委員会を開き、委員で2班を編成、月例の月別分担を決めた。

なお、女子月例については女子委員を選定するのが困難なため、現時点では月例競技の1、2位入賞者を次回月例の世話役とし、委員会にも出席してもらうことを決めた。その他、学連よりの毎月の推薦出場者の枠を男子20人、女子10人と決め、また、無断欠席者は、理由の如何を問わず7ヶ月の出場停止に処することを再確認した。

4月12日(火)正午、JGA会議室に福田委員長以下9名の委員と、女子の世話役となった高橋良江、渡辺恵子両選手が出席して第2回月例競技委員会を開き、関東アマチュア選手権の決勝にシードされる月例通算成績上位40位、及び関東女子選手権決勝にシードされる月例通算成績上位10位までを確定した。

なお、毎月の月例ではその都度実行してもらうテーマを決め、印刷してスタートの時点で参加者に配布することを決め、次回のテーマは「ハーフ1時間45分以内を目指してプレーすること」と決めた。

## ★広報委員会

4月4日(火)正午より、JGA会議室において武内委員長以下6名の委員が参加して本年度第1回の広報委員会を開催した。

委員長はまず写真関係で協力してもらう石川(嵐山)、片山(越生)の両委員を紹介した後、KGAニュースの第

## 理事会・委員会

3号を6月に発行することを決め、その編集について討議した。

また、毎月発行しているエチケット・ポスターについて事務局より経過報告があり、毎月のテーマについて検討した。なお、今後は、ハンディキャップの普及ポスターや、連盟主催競技の宣伝ポスター等についても各委員会と密接な連絡を取りながら、制作を手がけることを決めた。

### ★グリーン委員会

4月6日㈬午前10時30分より東京都港区虎ノ門の農林年金会館において第7回グリーン研究講習会を開き、200人に達する聴講者が集まって盛会裡に終了したが、その後、グリーン委員はそのまま残って同会場さくらの間で午後5時30分より委員会を開いた。木村委員長をはじめ12名の委員に、江原顧問、大久保、柳田参与が出席し、木村委員長が朝から続いた研究講習会の労を謝した後、一人一人から本日の感想と反省点を聞いた。

なお、秋に開く予定の研究講習会についても討議した

が、各クラブで最も関心が深いものを取り上げることとし、研究題目については、江原顧問ら講師の方々に検討をお願いし、次回委員会で確定することとした。

### グリーン委員打合せ会

4月28日㈭午正よりJGA会議室に急振招集した打合せ会が開かれ、木村委員長以下10名の委員が参加して次回の秋に行なわれるグリーン研究講習会の研究題目について討議。

#### 「日本の芝草の種類と新しい品種」

#### 「新しいタイプの肥料とその特性」

の二つの演題を決め、開催日については11月14日㈪を第1候補として検討することを決めた。

なお、木村委員長より、グリーン委員会の懸案となっているグリーン研究所設置のため、用地提供の申出のあった茨城ゴルフ俱楽部の用地を見学して来た旨の報告があり、研究所設置について種々意見の交換が行なわれた。

### クラブ代表者変更のお知らせ

クラブ名	クラブ代表者
天城にっかつゴルフ俱楽部	根本 悅二 (新)空 席 (旧)小林 聰夫
我孫子ゴルフ俱楽部	(新)前田謙一郎 (新)松本 栄造 (旧)関谷 斗 (旧)前田謙一郎
櫻倉田舎俱楽部	(新)津 金 修 作 鶴島 保 (旧)和久 幸男
ヴィラ蓼科カントリー俱楽部	(新)中沢 福 蔵 (新)物 部 基 (旧)葉山 敏夫 (旧)北野 哲也
群馬カントリークラブ	増田 定 次 (新)鈴木 嘉定 (旧)飯 畑 正 男
鶴舞カントリー俱楽部	水上 達 三 (新)河 尾 明一 (旧)空 席
富士ロイヤルカントリークラブ	(新)池上 宗 直 (新)宇佐美謹一 (旧)山本菊五郎 (旧)池上 宗直
サザンクロスカントリークラブ	北 村 順 则 (新)北 村 重 審 (旧)菊 池 正 人
本千葉カントリークラブ	小 林 政 吾 (新)長谷川 孝 (旧)廣 佐 和 実
東須賀カントリークラブ	(新)大部孫大夫 (新)武廣 文 雄 (旧)武廣 文 雄 (旧)杉本省三

クラブ名	クラブ代表者
津川カントリークラブ	中山 真 飯島 延 浩
大厚木カントリー俱楽部	木下 俊 雄 (新)遠藤 洋 吉 (旧)空 席
静岡カントリー浜岡コース	川村 裕 二 (新)杉山 善 二 (旧)杉本 周 遼
静岡カントリー島田ゴルフコース	(新)松崎 包 德 (新)大川原代治 (旧)川村 裕 二 (旧)松崎 包 德
静岡カントリー袋井コース	(新)鈴 金 忠 (新)伊藤 進 忠 (旧)川村 裕 二 (旧)鈴 金 忠
茨城パシフィックカントリー俱楽部	(新)寺澤末次郎 (新)人見 隆 清 (旧)空 席 (旧)空 席
大秦野カントリークラブ	細 郷 道 一 (新)長谷川隆太郎 (旧)横 塚 信 夫
甲斐駒カントリークラブ	佐 野 俊 雄 (新)北原 新 次 (旧)山崎 秀 治
伊香保温国際カントリークラブ	木暮 武 夫 (新)村上 富 司 (旧)国 武 正 明

### 理事長変更のお知らせ

茨城パシフィックカントリー俱楽部	(新)寺澤末次郎 (旧)栗澤 一 男
秦野カントリークラブ	(新)藤 井 博 (旧)島崎龍五郎
ヴィラ蓼科カントリー俱楽部	(新) 空 席 (旧)葉山 敏夫
程ヶ谷カントリー俱楽部	(新)川崎大次郎 (旧)寺尾 一 郎
石打後楽園カントリークラブ	(新)坂 本 正 吉 (旧)長野 照 弘

## 昭和58年度 関東ゴルフ連盟特別委員名簿(ABC順) 58.4.4現在

### 競技委員会

委員長	福 田 彰	河 西 幹 一	中 井 文 治	平 田 敬 量	岩 橋 亨
副委員長	森 井 誠 治	新 井 安 寿	福 山 琢 美	目 崎 隆 司	永 井 正 彦
委 員	安 達 懿 一	小 林 聰 夫	湊 義 夫	織 戸 總 三 郎	上 野 進 一
	北 村 昭 夫	小 原 正 也	大 驚 俊 朗	山 田 八 郎	山 崎 宣 彦
	大 沢 正 春	渡 边 满 之 助	山 口 定		
	宇 津 木 忠 衛				

### ハンディキャップ委員会

委員長	武 内 俊 三	吉 田 友 明	桑 原 正 明	町 田 孝 平	宮 元 昭 雄
副委員長	古 茶 一 之	小 林 金 太 郎	杉 本 忠 男	内 田 孝 平	山 崎 支 年 生
委 員	原 田 英 正	杉 本 忠 男	吉 沢 兵 左	中 野 弘 治	内 藤 正 幸
	齊 藤 文 志 郎	横 内 宏 明	前 川 武 英 男	吉 田 八 郎	
コースレート専門委員	山 田 八 郎	北 村 昭 夫	前 阪 田 哲		
顧 問	渡 边 実	大 沢 正 春	田 边 嘉 一		

### 月例競技委員会

委員長	福 田 彰	前 川 武 英	三 上 康 次	中 野 弘 治	岡 田 光 正
副委員長	山 崎 宣 彦	川 島 英 雄			
委 員	浅 川 辰 彦	阪 田 哲	田 边 嘉 一		
	岡 野 幸 男				

### ジュニア委員会

委員長	松 野 京 三	石 原 寿	上 代 修	金 沢 俊 彦	川 島 英 雄
副委員長	紅 露 昭 通	内 藤 正 幸	西 山 文 敏	小 川 俊 透	大 驚 俊 朗
委 員	堀 越 荣 治 郎	嶋 田 憲 人	竹 林 隆 光	田 边 嘉 一	
	森 茂 則 肇				
	森 肇				

### 広報委員会

委員長	武 内 俊 三	片 山 晴 美	三 田 高 裕	中 井 文 治	永 田 真 一
副委員長	木 村 襄 司				
委 員	石 川 博 英				

### 税対策委員会

委員長	福 田 富 市	北 村 順 則	古 茶 一 之	小 宮 山 義 孝	村 田 豊 雄
副委員長	松 浦 均	鈴 木 大 郎	安 納 一 緒	林 和 雄	平 林 平 治
委 員	勝 三	菊 池 要	福 塚 敏 雄	小 谷 獨 獨	坂 口 盛 純
	勝 又 一 郎	篠 原 千 秋	潮 崎 秀 隆	山 崎 勝 磨	
	坂 本 章 一				

### グリーン委員会

委員長	木 村 襄 司	大 橋 光 雄	齊 藤 文 志 郎	角 田 三 郎	平 林 平 治
副委員長	古 賀 始	菊 池 幸 則	小 谷 獨 獨	坂 本 章 一	鶴 島 保
委 員	小 宮 山 義 孝	平 本 精 則			
	勝 又 一 郎				
	山 崎 勝 磨				
	坂 本 正 吉				
	長 野 照 弘				

### 俱乐部名称変更のお知らせ

(新) ヴィラ蓼科カントリー俱乐部

(旧) ニューメドウカントリークラブ

### 俱乐部電話番号変更のお知らせ

富士見ヶ丘カントリークラブ

(新) 0543-94-0611

(旧) 05439-3-3900

# 月例競技成績表 (昭和58年3月~58年4月)

[3月月例] 参加: 男子86名・女子48名  
3月16日㈬ 於: 東京ゴルフ倶楽部

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
大山四郎	鎌ヶ谷	35	37	72	1
上代修二	中山	36	39	75	2
堀越栄治郎	相模原	40	35	75	2
岩崎憲一	太田双葉	38	38	76	4
富永浩	嵐山	40	36	76	4
星野光	美野原	38	38	76	4
(以上入賞)					
中島和也	矢板	37	40	77	7
松井滋	皐月	37	40	77	7
宮辰夫	習志野	39	38	77	7
宮里佑交	飯能	40	37	77	7
小林秋	かずさ	39	39	78	11
中島篤志	矢板	40	38	78	11
船野明	那須小川	40	38	78	11
網中一郎	霞ヶ関	41	38	79	14
大沢正春	鷺之台	37	42	79	14
田代昌義	新千葉	37	42	79	14
高木信行	烏山城	40	39	79	14
三中勝也	烏山城	37	42	79	14
飯塚武	千葉	39	41	80	19
笠川喜久男	新千葉	40	40	80	19
得能三郎	柄木	38	42	80	19
中村正利	東京国際	37	43	80	19
義山鐘満	立川国際	39	41	80	19
大出正義	新千葉	42	39	81	24
加藤家光	甘楽	40	41	81	24
小出一尤	姉ヶ崎	42	39	81	24
高梨信一	桜	41	40	81	24
中島廣行	東名富士	39	42	81	24
布川弘久	鷺之台	41	40	81	24
松岡和歲	東京よみうり	38	43	81	24
宮本清	小川	40	41	81	24
山本幸道	袖ヶ浦	39	42	81	24

コースレート 72.2

[4月月例] 参加: 男子95名・女子32名 4月8日㈮  
於: 茨城ゴルフ倶楽部(東コース)

(男子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
佐久間徹二	袖ヶ浦	35	37	72	1
富永浩	嵐山	37	35	72	1
内山健司	青梅	40	33	73	3
大山四郎	鎌ヶ谷	35	38	73	3
森茂則	セントラル	38	35	73	3
(以上入賞)					
内藤正幸	桜ヶ丘	40	34	74	6
松井滋	皐月・鹿沼	38	36	74	6
岡田光	嵐山	36	39	75	8
加藤一彦	千葉	39	36	75	8
佐久間義雄	姉ヶ崎	39	36	75	8
阪田哲男	袖ヶ浦	38	37	75	8
志村幹夫	大洗	38	37	75	8
得能三郎	柄木	37	38	75	8
金沢俊彦	東京国際	37	39	76	14
亀井隆	鳳凰月	37	39	76	14
小出一尤	姉ヶ崎	40	36	76	14
下井昌史	日大	39	37	76	14
高木信行	烏山城	38	38	76	14
高橋敏	小田原	39	37	76	14
高安信行	セントラル	36	40	76	14
中野弘治	芙蓉	37	39	76	14
山田保太郎	桜	37	39	76	14
渡辺敬一	GMG八王子	39	37	76	14
飯塚武	千葉	36	41	77	24
今井克典	立教大	43	34	77	24
大久保典蕃	桜ヶ丘	36	41	77	24
鹿窪一郎	セントラル	35	42	77	24
河野安男	江戸崎	36	41	77	24
能川茂美	戸塚	37	40	77	24
船野明	那須小川	39	38	77	24
堀越栄治郎	相模原	37	40	77	24
宮辰夫	習志野	37	40	77	24
吉田八郎	府中	38	39	77	24

コースレート 73.2

(注) 佐久間徹二、富永浩はタイスコアの為6月月例にてプレー・オフを行います。

(女子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
吉沢キミ子	セントラル	38	43	81	1
湯原光葉	烏山城	42	43	85	2
(以上入賞)					
高橋良江	東京国際	44	43	87	3
里見真左子	府中	44	44	88	4
鈴木エツ	大秦野	43	45	88	4

コースレート 71.1

(女子)

氏名	クラブ	アウト	イン	合計	順位
高橋良江	東京国際	36	42	78	1
渡辺恵子	高根	42	38	80	2
(以上入賞)					
吉沢キミ子	セントラル	39	42	81	3
金田正子	成城大	41	42	83	4
福井美保	GMG八王子	44	40	84	5
矢島智都子	南箱根	44	40	84	5
小野岡たき子	大秦野	41	44	85	7
尾間久江	武藏	42	43	85	7
佐々木諒子	烏山城	43	43	86	9
鈴木エツ	大秦野	45	41	86	9
中田朱美	袖ヶ浦	45	41	86	9

コースレート 70.9